

マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2020 年 3 月の経済報告】

令和 2 年 3 月 30 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数（内閣府、令和 2（2020）年 3 月 6 日発表） （令和元（2020）年 1 月分速報より抜粋）

1 月の CI（速報値・平成 27(2015)年=100）は、先行指数：90.3、一致指数：94.7、遅行指数：103.4 となった（注）。

先行指数は、前月と比較して 0.7 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。3 か月後方移動平均は 0.36 ポイント下降し、19 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.48 ポイント下降し、20 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 0.3 ポイント上昇し、4 か月ぶりの上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.46 ポイント下降し、4 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.66 ポイント下降し、15 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.4 ポイント下降し、3 か月ぶりの下降となった。3 か月後方移動平均は 0.04 ポイント下降し、6 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.17 ポイント下降し、6 か月連続の下降となった。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（景気動向指数の概要 pdf へ）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202001psummary.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（3月）（内閣府、令和2年3月26日（木）公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より）

<日本経済の基調判断>

（現状）

- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。

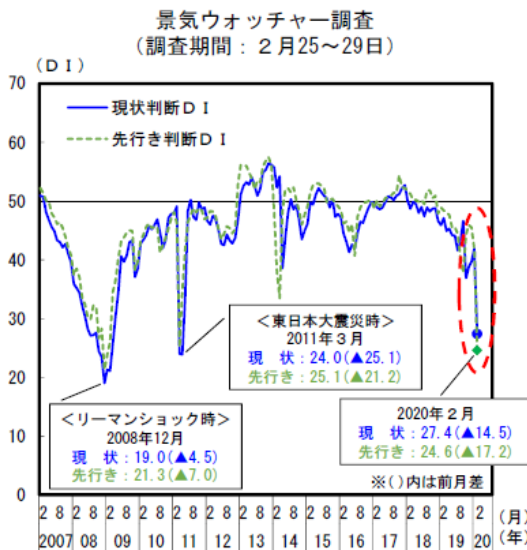
（先行き）

- ・ 先行きについては、感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

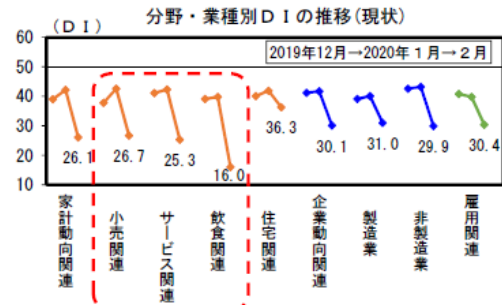
今月のポイント(1) 景況感

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、街角景気は、急速に厳しい状況。先行きについても、一段と厳しい状況になるとの見込み。

- 街角景気を業種別にみると、小売、サービス、飲食関連が大きく低下。
- 小売では、百貨店が悪い一方、スーパーは底堅く、ばらつきがある。サービスは旅行関連で特に厳しく、飲食は総じて厳しい。



（備考）1. 内閣府「景気ウォッチャー調査」により作成。
2. 左図及び右上図は、季節調整値。右下表は、原数値。



小売関連の内訳（現状）

	D I
商店街・一般小売	19.1
百貨店	14.6
スーパー	41.5
コンビニ	29.7
家電量販店	31.7
乗用車販売	37.2
衣料品専門店	23.8

サービス関連の内訳（現状）

	D I
宿泊施設	9.1
旅行代理店	5.6
タクシー	22.6
レジャー施設	28.0

飲食関連の内訳（現状）

	D I
高級レストラン	13.2
一般レストラン	12.0
スナック	12.5

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（月例経済報告資料 pdf へ）

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/03kaigi.pdf>

■ 設備投資（令和2年3月16日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋）
令和2年1月実績： 機械受注統計調査報告

1. 機械受注総額の動向をみると、2019（令和元）年12月前月比4.6%減の後、2020（令和2）年1月は同11.5%増の2兆3,855億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比1.6%減の9,874億円、官公需は同87.8%増の3,927億円、外需は同9.1%増の8,671億円、代理店は同8.1%増の1,230億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2019（令和元）年12月前月比11.9%減の後、2020（令和2）年1月は同2.9%増の8,394億円となった。このうち、製造業は同4.6%増の3,803億円、非製造業（除く船舶・電力）は同1.7%減の4,607億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年 (平成31年) 1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	2019年 (令和元年) 7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	2020年 (令和2年) 1-3月 (見通し)	2019年 (令和元年) 10月 (実績)	11月 (実績)	12月 (実績)	2020年 (令和2年) 1月 (実績)
受注総額		-7.5	-1.3	1.8	-5.4	-1.2	3.3	-0.5	-4.6	11.5
民需		0.7	6.3	0.1	-4.3	-2.8	4.9	5.1	-8.6	-1.6
〃（除船電）		-2.6	7.8	-4.7	-1.8	-2.0	-3.2	11.9	-11.9	2.9
製造業		-5.9	2.3	-3.5	-2.8	-1.0	-0.8	-1.2	2.4	4.6
非製造業（除船電）		-1.0	14.3	-9.3	3.6	-5.2	-1.8	18.4	-18.8	-1.7
官公需		-18.8	29.7	-4.9	-10.5	-12.5	23.5	-3.3	-17.8	87.8
外需		-11.9	-13.4	5.8	-7.9	5.2	1.0	-10.2	3.0	9.1
代理店		-4.5	-0.5	-4.0	-3.1	4.9	-4.2	1.3	-2.6	8.1

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

2. 2020年1月調査(同年3月16日公表)において、季節調整系列の迎及改訂を行ったため、それに伴い「2020年1～3月見通し」(同年2月19日公表)も改訂されている。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2001juchu.html>

■ 鉱工業指数調査（経済産業省 2020年3月17日発表 より抜粋）

結果の概要【2020年1月分】

鉱工業指数（生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数）、製造工業生産予測指数
～ 製造業の動きから見る日本の景気 ～

<概況>

- ・ 製造工業生産能力指数は、98.3で前月比0.1%の上昇。
 上昇業種：電気情報通信機械工業同0.6%、汎用・業務用機械工業同0.6%、
 生産用機械工業同0.4%等
 低下業種：輸送機械工業同-0.2%、その他工業同-0.3%、
 窯業・土石製品工業同-0.1%
- ・ 製造工業稼働率指数は、96.1で前月比1.1%の上昇。
 上昇業種：輸送機械工業同4.7%、生産用機械工業同7.1%、
 鉄鋼・非鉄金属工業同1.6%等
 低下業種：化学工業同-2.9%、電気・情報通信機械工業同-3.1%、
 金属製品工業同-4.6%等

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
	98.3	0.1	-0.4

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
	96.1	1.1	93.6	-3.9

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	99.8 (99.6)	1.0	94.1 (93.9)	-2.3
出荷 (速報値)	97.3 (96.9)	0.6	92.1 (91.7)	-3.3
在庫 (速報値)	105.9 (105.8)	1.6	107.6 (107.5)	3.9
在庫率 (速報値)	114.9 (115.0)	-1.6	124.5 (124.6)	9.5

- ・ 確報と速報を比べると、生産、出荷、在庫は上方修正、在庫率は下方修正であった。

なお、詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

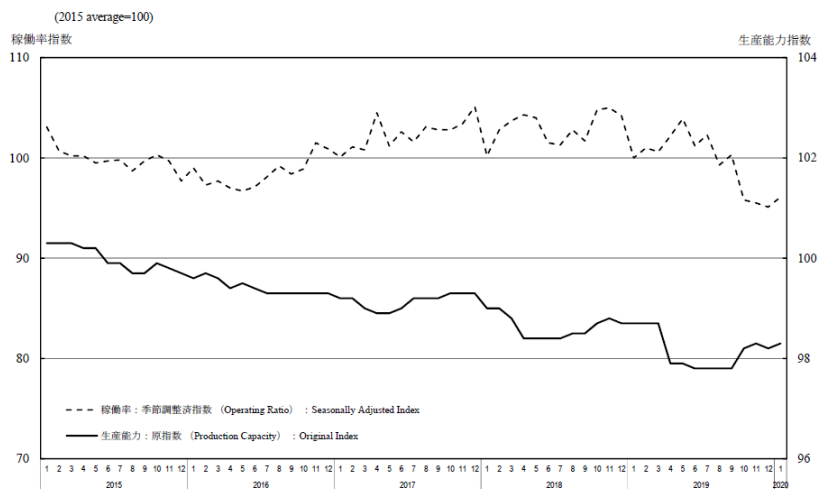
<2020年1月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

- (1) 1月の製造工業生産能力指数は、98.3で前月比0.1%の上昇であった。
業種別にみると、電気・情報通信機械工業同0.6%、汎用・業務用機械工業同0.6%、生産用機械工業同0.4%等が上昇し、輸送機械工業同-0.2%、その他工業同-0.3%、窯業・土石製品工業同-0.1%が低下した。
- (2) 1月の製造工業稼働率指数は、96.1で前月比1.1%の上昇であった。
業種別にみると、輸送機械工業同4.7%、生産用機械工業同7.1%、鉄鋼・非鉄金属工業同1.6%等が上昇し、化学工業同-2.9%、電気・情報通信機械工業同-3.1%、金属製品工業同-4.6%等が低下した。

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio				Year and Month
	原指数 Original Index			季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月(期)比) %Change From Previous Year		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)		前年 (同月(期)比) %Change From Previous Year		
2017年	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y. 2018
2019	98.2		-0.5			99.8	-3.2	C.Y. 2019
2016年度	99.0		-0.6			99.2	-0.1	F.Y. 2016
2017	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.7		-0.1			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2018年 IV期	98.7	0.2	-0.6	104.7	2.7	105.7	2.0	Q4 2018
2019年 I期	98.7	0.0	-0.1	100.5	-4.0	101.5	-2.2	Q1 2019
II期	97.8	-0.9	-0.6	102.4	1.9	101.0	-0.8	Q2
III期	97.8	0.0	-0.7	100.6	-1.8	100.4	-0.6	Q3
IV期	98.2	0.4	-0.5	95.5	-5.1	96.4	-8.8	Q4
2018年 11月	98.8	0.1	-0.5	105.0	0.2	107.2	2.9	Nov. 2018
12月	98.7	-0.1	-0.6	104.2	-0.8	102.0	-0.7	Dec.
2019年 1月	98.7	0.0	-0.3	100.0	-4.0	97.4	-0.2	Jan. 2019
2月	98.7	0.0	-0.3	101.0	1.0	99.8	-1.8	Feb.
3月	98.7	0.0	-0.1	100.6	-0.4	107.2	-4.5	Mar.
4月	97.9	-0.8	-0.5	102.2	1.6	101.6	-0.5	Apr.
5月	97.9	0.0	-0.5	103.9	1.7	99.7	-0.1	May
6月	97.8	-0.1	-0.6	101.2	-2.6	101.6	-1.8	Jun.
7月	97.8	0.0	-0.6	102.3	1.1	107.6	2.5	Jul.
8月	97.8	0.0	-0.7	99.3	-2.9	92.4	-4.8	Aug.
9月	97.8	0.0	-0.7	100.3	1.0	101.1	0.2	Sep.
10月	98.2	0.4	-0.5	95.8	-4.5	98.6	-8.6	Oct.
11月	98.3	0.1	-0.5	95.5	-0.3	96.1	-10.4	Nov.
12月	98.2	-0.1	-0.5	95.1	-0.4	94.5	-7.4	Dec.
2020年 1月	98.3	0.1	-0.4	96.1	1.1	93.6	-3.9	Jan. 2020

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)
Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。(指数の動向資料 pdfへ)

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202001nj.pdf

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2020年2月28日発表より抜粋)

【2019年12月概況】

- ・ 2019年12月のグローバル出荷額は3,080億円、前年比103.6%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比99.7% 1,313億円）、接続部品（同104.4% 817億円）、変換部品（同98.1% 500億円）、その他の電子部品（同123.6% 449億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比94.8% 724億円）、米州（同87.7% 277億円）、欧州（同89.6% 239億円）、中国（同119.9% 1,210億円）、アジア・その他（同101.8% 632億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2020.02.28 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2019年度						2019年度累計		
	10月		11月		12月		4月-12月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,252	87	3,171	90	3,080	103	28,337	94	
(日本)	727	81	709	82	724	94	6,550	91	
品目別	受動部品	1,356	85	1,325	86	1,313	99	11,898	92
	コンデンサ	953	81	957	85	939	97	8,495	92
	抵抗器	121	81	115	80	116	87	1,088	87
	トランス	32	85	32	82	31	85	307	87
	インダクタ	244	101	217	95	220	119	1,976	99
	その他	4	159	3	102	4	173	29	105
	接続部品	842	86	830	90	817	104	7,513	95
	スイッチ	347	86	346	88	317	95	3,283	101
	コネクタ	491	86	480	91	497	111	4,196	92
	その他	3	57	3	68	2	64	33	73
	変換部品	570	84	547	86	500	98	4,978	92
	音響部品	130	76	126	75	107	77	1,064	80
	センサ	209	93	205	92	200	104	1,822	95
	アクチュエータ	229	82	216	90	192	107	2,091	97
	その他の電子部品	482	103	467	104	449	123	3,946	97
	電源部品	161	88	165	91	161	96	1,474	90
高周波部品	320	113	301	114	287	147	2,472	101	

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2019年度»

地域別出荷金額 (億円)	2019年度						2019年度累計	
	10月		11月		12月		4月-12月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,252	87	3,171	90	3,080	103	28,337	94
日本	727	81	709	82	724	94	6,550	91
米州	319	81	286	77	277	87	2,883	93
欧州	332	92	306	88	239	89	2,815	94
中国	1,211	93	1,232	100	1,210	119	10,202	94
アジア他	664	85	640	88	632	101	5,926	95

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) HP をご参照下さい。

https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上